



クリーン開発メカニズム(CDM) 質の向上のための課題

第一約束期間(2008 - 2012年)が目前に迫り、CDMプロジェクトが増加しています。そうした中、NGO等が悪質なCDMの存在を指摘し、CDM理事会によるDOEへのスポットチェックの結果、CDM要件を満たしていないとされるケースも出てきています。

CDMの質の向上を図ることは、気候変動問題への対応や途上国における持続可能な発展の促進のために重要であるのはもちろん、CDMに関与する日本政府及び企業のリスクマネージメントのためにも非常に重要です。

そこで、本ワークショップを開催し、国内各セクターのキーパーソンの中で、CDMに関する最新動向を共有しつつ、CDMの質に関する議論を行うこととしました。皆さんぜひ御参加ください。

【日時】2007年9月25日(火)
10:30 ~ 13:00

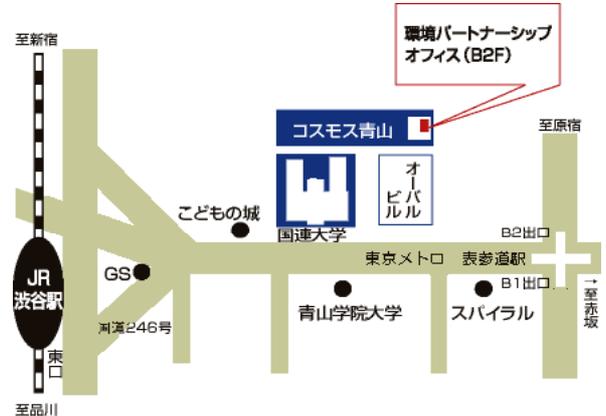
【会場】環境パートナーシップオフィス会議室
東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B2F

【最寄駅】地下鉄表参道駅 (B2出口より徒歩5分)
JR 渋谷駅 (東口より徒歩10分)

【参加費】一般 2,000円 (軽食代を含む)
(JACSES 賛助会員は無料、サポーター会員は半額)

【主催】「環境・持続社会」研究センター(JACSES)

【共催】世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン)



【プログラム】(予定)

第一部: 報告 10:30 ~ 11:30

	テーマ	発表者(敬称略)
1	温室効果ガス排出量取引市場 / クレジット需給の最新動向と展望	齋藤聡(みずほ情報総研株式会社環境・資源エネルギー部京都メカニズムチーム)
2	CDM 理事会の CDM の質を巡る議論	山本重成(日本品質保証機構地球環境事業部次長)
3	質向上のためのラベリング・認証基準 ~ ゴールドスタンダードが果たす役割	山岸尚之(WWF ジャパン気候変動グループ長)
4	CDM / カーボンクレジットの質の向上に向けた課題(CER と VER)	明日香壽川(東北大学教授) / 足立治郎(JACSES 事務局長)

第二部: ディスカッション 11:40 ~ 13:00

内容(案): 国内各セクターの間で CDM の質に関し議論。

司会: 古沢広祐(國學院大學教授)

【お申し込み】

Eメール件名または Fax 件名に「9月25日ワークショップ参加申込」と明記の上、ご氏名、ご所属、連絡先(メールアドレスまたは Fax 番号)を記し、E-mail: jacsces@jacsces.org または Fax: 03-3556-7328 までお申し込み下さい。なお、定員(70名)になり次第、締切りとさせていただきます。(お申込の個人情報は、本会合の受付や、今後の催しのご案内に利用します。これら以外に利用することや、第三者に開示、提供することはいたしません。)

特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 担当: 足立治郎
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-3-2 三信ビル 401

TEL: 03-3556-7323 FAX: 03-3556-7328 E-mail: jacsces@jacsces.org

本ワークショップは、環境再生保全機構地球環境基金及び WWF エコ・パートナーズ事業助成金を受けて行われます。